

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	キャッシュレス決済等推進事業				②事業番号	3419	
③事業類型	7. 負担金・補助金事業			④開始年度	令和 2 年度	⑤終了予定年度	令和 2 年度 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	<input type="radio"/> 要綱	計画等	その他 法令等の名称: 泉南市キャッシュレス決済等推進事業補助金交付要綱	
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	<input type="radio"/> 補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	6	項	1	目	2	細目 7
⑨担当部名	市民生活環境部			⑩担当課名	産業観光課		
						会計	一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市内中小企業者	① 市内中小企業者数	件
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
市内の中小企業者に対して、新型コロナウイルス感染症拡大防止並びにインバウンド対応におけるキャッシュレス機器の導入に係る経費の3/4を補助する。(上限20万円)	① 補助金交付企業数	件
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
新型コロナウイルス感染症の拡大防止並びにインバウンド対応におけるキャッシュレス環境整備の向上を推進する。	① 補助対象事業者が事業に要した経費	円
	② 補助金活用結果	%
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や事業者の売上向上、消費者の利便性向上を図り、併せて市内を訪れるインバウンドへの環境整備を推進する。	政策(章)	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち
その他の体系上の位置づけ (3-3-1-1): 地域商業の活性化	施策大(節)	2 さまざまな製造業が集積し、また新たな産業が発展していくまちをめざします
	施策中	1 製造業の振興
	施策小	4 事業者団体などへの支援

【2】各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	市内中小企業者数	件				1,433			指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②									
活動指標①	補助金交付企業数	件				14			市内中小企業者数は中小企業庁の統計情報による。(H28)
活動指標②									
活動指標③									
成果指標①	補助対象事業者が事業に要した経費	円				8,382,807			事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標②	補助金活用結果	%				31			
成果指標③									
事業費	投入人員	人				0.25			
	正職員	人				0.05			事業費などの推移における特殊要因などの説明
	任期付職員	人				0.00			
	臨時職員	人				0.00			
	事業費	千円				2,059			—
	直接事業費	千円				2,581			
	総事業費	千円				4,640			
財源内訳	国庫支出金	千円				2,581			—
	府支出金	千円				0			
	受益者負担金	千円				0			
	その他特定財源	千円				0			
	一般財源	千円				2,059			

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、顧客との接触を伴わないキャッシュレス決済は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑制することができる。また、キャッシュレス環境整備の向上を推進することで、市内を訪れるインバウンドへの環境整備を推進することができるため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	—
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている ア イ. ある程度 ウ. いない	新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑制することができ、市内の中小企業者を支援することができるため、必要な事業である。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **A**

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている ア イ. ある程度 ウ. いない	市内の中小企業者の安定経営に対して大きく寄与していると思われる。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	—
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし ア イ. できる ウ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **A**

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
--	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
	A	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、市内の中小企業者に対する支援は必要である。	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (2 年まで)	エ. 休止 ↓ (___ 年から)	オ. 廃止 ↓ (___ 年から)
	<今後の展開方針>			
	a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる)	b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する)	e. 統合する(他の事務事業と統合する)	

①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—